

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第3号 R3.7.2(金)

藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美



「救急救命講習」

6月25日(金)期末テストの最終日、「熱中症対策アドバイザー」(環境省後援)の資格を持つ本校教員が講師となり、各部活動の代表者と教職員対象の救急救命講習会を行いました。緊急事態宣言があげ、まん延防止等重点措置期間となり、感染対策を充分に行うことを前提にようやく部活動の時間が通常通りとなりました。今年は新型コロナウイルス感染防止のための活動制限があり、体力の低下や、少しずつ暑さに慣れることが出来なかったため熱中症のリスクは例年より高いといえます。

講習会ではコロナ禍における心肺蘇生法、AEDの設置場所の確認と使用法や熱中症予防のため、徐々に体を暑さに慣れさせていく暑熱順化(しょねつじゅんか)と水分補給について学びました。

本校では毎年教職員数名が、柏羽藤消防本部で行われる応急手当普及員講習会に参加しています。さらに事故が増える今頃の時期に、その講習会で「応急手当普及員」となった教職員が講師となって、校内救急救命講習を行っています。

まずは事故が起きないように予防することが大切です。しかし、万一事故に遭遇した場合、適切に対応できる知識があれば救える命があります。救急車が来るまでの約9分間をどうつなぐのか、コロナ禍では顔を近づける呼吸の確認や人工呼吸などはないようにすること、処置を行った後は手や顔を洗うことなどをしっかり学ぶことができました。※AEDは1階玄関ホールにあります。

「三中カーニバル」

コロナ禍による制限の中、少しでもみんなの笑顔を増やそうと企画した「三中カーニバル」のことを紹介したいと思います。

第1回目は6月1日から実施したフリースロー対決でした。学年、性別、生徒、教職員の区別なしの三人一組でチーム登録し、エントリーは25チームありました。対戦は昼休みを使ってトーナメント形式で行われました。観客の密を避けるために体育館で直接観るだけでなく、各学年のフロアや玄関ホールでライブ配信し、分散してパブリックビューイングを行いました。特に玄関ホールのスクリーンは2階の廊下からもゆったりと観戦でき、新しいICTの活用が見いだせたように思います。教職員チームも粘ったのですが、さすがに決勝は男女バスケットボール部の対決となり、3年生男子に軍配が上がりました。

そして第2回は「笑顔の花を咲かせよう」をコンセプトに全員が参加できる形に進化し、「IPPON グランプリ」を行うことになりました。動物の写真を見て、誰も傷つけない面白い一言を考えようというものです。生徒会が中心となってプロモーションビデオまで作成してくれました。大阪の子らしい一言が出てくると楽しいですね。盛り上がり方が期待されます。

「校務員さん」

本校には5名の非常勤の校務員さんがおられます。どなたもとてもよく動いてくださって助かっています。

朝は通学路でもある学校の付近のスポーツセンターの周りまで掃除をしてくださいます。また、本校は敷地も広く、「花が咲く学校」ですから、落ち葉掃除、剪定の片付け、花壇の手入れなど我々教員がなかなかやりきれない部分を担っていただいています。校内は廊下、階段、職員や来客用のトイレも掃除が行き届いており、毎日気持ちよく学校生活を送ることができています。本当にありがたいことです。